

1968
12.10

11日学生大会に結集し七項目要求貫徹めざし

=文学部=

反対 越冬体制を撲滅せよ!

11日学生大会の住ムー文学部

理教根云の強硬的は態度によつて、大眾団交裏現の時期は更に後
らづれよつとしそういる。しかし日がうがら我々は敵の出方を待つていろ
わけにはいかぬ。11日学生大会において、我々は「かかる意味」
から、以下の住ムを果していかなければならぬ。(①)10日学生大会
以降の斗争の跡跡をたどり、細密に総括していくこと、とりわけ
文自斗がその中核となりて掛けてきたを尊斗による、守衛所占拠斗
争の挫折を総括しなくニ点である。(2)10日守衛所占拠斗争に對する
日共・民青の反革派の被廢活動を運動するとともに、更に彼らの學
園民主化路線(六項目要求一題昌城講云設置)に対する報復しに批
判を展開する二点である。(3)以上にふきえ、七項目要求の貫徹をめ
ざす強固な意志をうらため、越冬体制を撲滅していこうことである。

学友諸君、斗争意志を学生大会へノクラス毎に示議ス!

7自理学生大会一統一代表団選出を進行

非日理学生大会は、理策斗委に結集する学友の、二の向の筋替に
ふきえに駆逐移置阻止の意志の明確化の原則的追求にもかかわらず
執行部によつて「學園民主化」論の注入の場と化さ山でいた。そ
ればかりではない。文自斗からの要求原目統一をめざす討論案公の
提走を匿りフボしに理執行部は「統一代表団」選出を預けしにのぞ
ある。駆逐斗争の方向性をめぐる討論を重じて、要求原目の統一を
はかる努力を一切矢暑させ。しかも理教根云の提起した条件「學部3
名を定めに選出する二点が、いかにヒクト的であるかは明白である。
3日体育学部に續く、理学部における「代表団」選出が、文自
斗排除の援助であるとともに、民青系諸君のイニシアティブによ
て「早謝勝利」理教根云設置・學園民主化へと斗争を進めた。取
束させること無効である二点を明確に運動しにせられりやむからなり。

13日までに各専部事ム室で手続ヲを行つて下マ
18日——文学部——樋ヶ谷体育学部
20日——理学部——

文部省一育英会の王子斗争を曰夷とづる二名の斗争者に對する
奖学金支給打ち切りリ斗争破壊援助に運動の声を!!
王子斗争におひて不当選挙ナシ今箭波斗争において指導的口位
蓋にある二名の学反に對して、奖学金打ち切りが伝えら山田。二山
は明確に、文部省一育英会一体と行つた。駆逐斗争に對する第三庄工
作である。すべてこの学友が文部省一育英会に対し運動の声をあ
げよう日ヨリ1カ月

当面のスケジュール

本日、夜斗争委員会

11日 文学生大会

23日 農学生大会

12.5 25 越冬体制確立(各クラスで施若、型化の作業を)
11.5 25 同開幕

ス上貢款

11.5 11 同開幕